

第3期北海道がん対策推進計画中間評価の概要

第1 計画の趣旨

全国の都道府県の中でも高い死亡率の改善を図ること等を全体目標とし、道民一丸となってがんに負けない社会を実現するため、平成30年度から令和5年度までの6年間の計画を策定。

第2 中間評価の趣旨

第3期北海道がん対策推進計画に定める目標等の達成に向けて、これまでの指標の進捗状況や国及び道が実施した各種調査結果等を参考に、個々に取り組むべき施策の進捗状況を評価し、その結果を踏まえて、北海道がん対策推進委員会から御意見をいただきながら、必要に応じて施策への反映を検討するもの（計画策定から3年を目途に中間評価を行うとともに公表することとしている）。

第3 国の動向

- 小児がん拠点病院等の整備（北海道大学病院を中心とした小児がんに係る診療体制を構築）
- がんゲノム医療拠点病院等の整備（北海道大学病院を中心としたゲノム医療の連携体制を構築）
- 小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業の実施（R3.4～）

第4 中間評価

1 全体目標

指標は順調に推移しているが一部施策の進捗に遅れが見られるため取組を強化

- (1) 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実
- (2) 患者本位のがん医療の実現
- (3) 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

【指標の進捗状況】

項目		計画当初	現状値(R1)	目標値(R5)	全国(R1)
					全国(R1)
75歳未満年齢調整死亡率	男性	108.5	95.9	全国平均値	86.0
	女性	66.4	62.9		55.2

【評価結果及び今後の対応】

道内のがん年齢調整死亡率は年々減少傾向にあるものの、全国平均値まで減少するという目標の達成のため、がん検診の受診促進など、計画に定める各種取組を更に推進していく必要がある。

2 分野別施策

指標の進捗状況等・評価結果及び今後の対応

1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

がんの1次予防

進捗に遅れが見られるため取組を強化

- がんによる死亡者減少のため、がんの一次予防を推進
- ①たばこ対策 ②生活習慣 ③感染症等対策

【指標の進捗状況】

項目	計画当初	現状値(R1)	目標値(R4)
成人の喫煙率	24.7%	22.6%	12%以下
妊婦の喫煙率	6.6%	4.7%	0%

【参考数値】

子宮頸がんの年齢調整罹患率	13.4(H29)	14.3(H30)	参考数値
---------------	-----------	-----------	------

【評価結果及び今後の対応】

成人の喫煙率等は改善傾向にあるものの、全国との比較において依然として高いほか、子宮頸がんの罹患率が増加傾向にあるなど、進捗に遅れが見られることから、さらなる取組が必要であり、喫煙が健康に及ぼす影響に係る普及啓発を始めとしたこれまでの取組に加え、受動喫煙防止に関する各種取組を計画的に進めるとともに、HPVワクチン接種に関する情報が対象者等に確実に届くよう、市町村の取組の促進に努める。

2 分野別施策 指標の進捗状況等・評価結果及び今後の対応

がんの早期発見、がん検診（2次予防）

進捗に遅れが見られるため
取組を強化

○がんによる死亡者減少のため、がんの2次予防を推進
①受診率向上対策 ②がん検診の精度管理等 ③職域におけるがん検診

【指標の進捗状況】

がん検診受診率				がん精検受診率			
	計画当初	現状値(R1)	目標値(R5)		計画当初	現状値(R1)	目標値(R5)
肺	36.4%	37.8%	50%以上	肺	84.4%	76.8%	90%以上
胃	35.0%	34.0%		胃	71.6%	70.9%	
大腸	34.1%	34.6%		大腸	65.4%	65.6%	
乳	31.2%	30.1%		乳	82.8%	81.1%	
子宮頸	33.3%	30.7%		子宮頸	50.9%	39.9%	

がん精検未把握率			
	計画当初	現状値(R1)	目標値(R5)
肺	2.6%	11.6%	5%以下
胃	11.9%	13.3%	
大腸	14.7%	15.7%	
乳	10.8%	11.6%	
子宮頸	39.1%	53.1%	

【評価結果及び今後の対応】
 がん検診受診率について、ほぼ横ばいで推移し、目標値の達成は厳しい状況。特に市町村がん検診受診率と女性の受診率が低調。また、精検未把握率が増加傾向にあるなど、進捗に遅れが見られる。
 精検未把握率の増加要因の分析を行うため、市町村がん検診の実態把握を進め、検診受診率の向上や精検受診率等の把握について、市町村への働きかけを一層進めるとともに、検診実施機関を対象とした研修会を開催し、精検受診結果の市町村への報告など、国指針等に基づきがん検診を適切に実施するよう、検診実施機関の理解の促進に努める。

2 患者本位のがん医療の実現

がんの手術療法、放射線療法、薬物療法等の充実

順調に進捗しており
引き続き推進

○道民がどこに住んでいても安心してがん診療を受けられるよう、拠点病院等によるがん医療提供体制の充実
①がん医療提供体制 ②各治療法等 ③チーム医療の推進 ④がんゲノム医療

【指標の進捗状況】

項目	計画当初	現状値(R2)	目標値(R5)
がん診療連携拠点病院数	20病院	21病院※	21病院
がん看護専門看護師配置拠点病院等数	18病院	19病院	増加
がん専門薬剤師配置拠点病院等数	12病院	13病院	増加

※令和3年4月1日時点

【評価結果及び今後の対応】
 がん診療連携拠点病院数は、令和3年4月1日時点で目標値を達成し、概ね順調に進捗しているが、都市部に集中しているため、7か所の二次医療圏で拠点病院等が未指定の状況である。
 引き続き、未指定の二次医療圏域の中核医療機関に対し、拠点病院等の指定に向け働きかけていくとともに、北海道がん診療連携協議会と連携し、患者の権利や意思が尊重される環境の整備、チーム医療の推進、PDCAサイクルの構築などに努める。

後遺症対策等の推進

順調に進捗しており
引き続き推進

○がん患者とその家族の生活の質が低下しないよう、がんによる副作用・後遺症等のケアを実践

【指標の進捗状況】

項目	計画当初	現状値(R2)	目標値(R5)
リンパ浮腫外来のある医療機関	12病院	18病院	増加

【評価結果及び今後の対応】
 リンパ浮腫外来のある医療機関が増加するなど、概ね順調に進捗しており、治療による副作用の見通しを持てる患者の割合等が増加するよう、引き続き、リンパ浮腫に関する研修会の開催など、医療従事者の知識・技能の向上を図るとともに、リンパ浮腫外来の設置の促進に努める。

2 分野別施策	指標の進捗状況等・評価結果及び今後の対応												
<p>女性特有のがん、希少がん、難治性がん対策</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;">順調に取組を進めており 引続き推進</p>	<p>○希少がん・難治性がん患者の生存率向上のため、拠点病院等及び小児がん拠点病院等との連携体制の整備促進 ①女性特有のがん ②希少がん ③難治性がん</p> <p>【参考数値】</p> <table border="1" data-bbox="501 353 1445 474"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>道</th> <th>全国</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>希少がんに関して専門的な医療を受けられたかとの問いに対し「ある程度そう思う」「とてもそう思う」と回答した患者の割合</td> <td>77.7%</td> <td>79.0%</td> <td>参考数値</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価結果及び今後の対応】 患者支援団体などと連携した啓発イベントを実施するなど、概ね順調に取り組んでおり、引き続き、啓発イベントを行うほか、一時保育の実施など女性が受診しやすい環境の整備について、市町村や検診機関の取組の促進に努める。 拠点病院等を中心とした診療体制の確保とともに、難治性がんや希少がん対策について、ホームページ等を活用した道民への情報提供などに努める。</p>	項目	道	全国	備考	希少がんに関して専門的な医療を受けられたかとの問いに対し「ある程度そう思う」「とてもそう思う」と回答した患者の割合	77.7%	79.0%	参考数値				
項目	道	全国	備考										
希少がんに関して専門的な医療を受けられたかとの問いに対し「ある程度そう思う」「とてもそう思う」と回答した患者の割合	77.7%	79.0%	参考数値										
<p>小児がん、AYA世代のがん及び高齢者のがん対策</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;">進捗に遅れが見られるため 取組を強化</p>	<p>○年代に応じたがんの医療提供や相談支援・情報提供の連携体制を促進 ①小児がん ②AYA世代のがん ③高齢者のがん</p> <p>【参考数値】</p> <table border="1" data-bbox="501 833 1445 981"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>道</th> <th>全国</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治療開始前に生殖機能への影響に関する説明を受けたがん患者・家族の割合</td> <td>46.3%</td> <td>51.6%</td> <td>参考数値</td> </tr> <tr> <td>家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合</td> <td>36.3%</td> <td>47.1%</td> <td>参考数値</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価結果及び今後の対応】 「治療開始前に生殖機能への影響に関する説明を受けたがん患者・家族の割合」や「家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合」が低いなど、進捗に遅れが見られることから、北海道がん診療連携協議会と連携し、がん相談員の質の向上や医療機関における患者への情報提供の充実に努める。また、国の「小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業」の活用など、妊孕性温存療法の支援体制の確保に向けた検討を進める。</p>	項目	道	全国	備考	治療開始前に生殖機能への影響に関する説明を受けたがん患者・家族の割合	46.3%	51.6%	参考数値	家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	36.3%	47.1%	参考数値
項目	道	全国	備考										
治療開始前に生殖機能への影響に関する説明を受けたがん患者・家族の割合	46.3%	51.6%	参考数値										
家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	36.3%	47.1%	参考数値										
<p>がん登録</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;">順調に進捗しており 引続き推進</p>	<p>○全国がん登録及び院内がん登録を推進し、精度の高い情報を提供できる体制を構築</p> <p>【参考数値】</p> <table border="1" data-bbox="501 1348 1445 1496"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>計画当初</th> <th>現状値(H29)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DCO（死亡診断書の情報のみ登録された症例）の割合</td> <td>3.3%</td> <td>2.3%</td> <td>参考数値</td> </tr> <tr> <td>DCI（死亡診断書を契機に治療情報が登録された症例）の割合</td> <td>5.2%</td> <td>4.1%</td> <td>参考数値</td> </tr> </tbody> </table> <p>※DCOの割合が低いほど、登録情報の内容が有用であると評価される。</p> <p>【評価結果及び今後の対応】 がん登録の精度を示す指標が改善傾向であるなど、概ね順調に進捗しており、引き続き、北海道がん診療連携協議会と連携し、医療機関からの情報を適切に収集するほか、個人情報の保護を徹底しつつ、がん登録情報をより有効に活用できるよう、北海道がん対策推進委員会において効果的な運用に努める。</p>	項目	計画当初	現状値(H29)	備考	DCO（死亡診断書の情報のみ登録された症例）の割合	3.3%	2.3%	参考数値	DCI（死亡診断書を契機に治療情報が登録された症例）の割合	5.2%	4.1%	参考数値
項目	計画当初	現状値(H29)	備考										
DCO（死亡診断書の情報のみ登録された症例）の割合	3.3%	2.3%	参考数値										
DCI（死亡診断書を契機に治療情報が登録された症例）の割合	5.2%	4.1%	参考数値										

2 分野別施策 指標の進捗状況等・評価結果及び今後の対応

3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

<p>がんと診断された時からの緩和ケアの推進</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>進捗に遅れが見られるため 取組を強化</p> </div>	<p>○がん患者とその家族が可能な限り質の高い生活を維持できるよう、より充実した緩和ケアの提供体制を構築 ①緩和ケアの提供 ②緩和ケア研修会 ③普及啓発 ④在宅緩和ケア</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【参考指標、参考数値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">項目</th> <th style="width: 15%;">計画当初</th> <th style="width: 15%;">現状値(R2)</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケア病棟を有する病院</td> <td>20病院</td> <td>22病院</td> <td>参考指標</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">項目</th> <th style="width: 15%;">道</th> <th style="width: 15%;">全国</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合</td> <td>69.6%</td> <td>56.1%</td> <td>参考数値</td> </tr> <tr> <td>心のつらさがあるときに、すぐに医療スタッフに相談できると感じている患者の割合</td> <td>35.6%</td> <td>31.9%</td> <td>参考数値</td> </tr> <tr> <td>亡くなる前1ヶ月間の療養生活の質について、からだの苦痛が少なく過ごせたと回答した患者の割合</td> <td>32.5%</td> <td>41.8%</td> <td>参考数値</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>【評価結果及び今後の対応】 「身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合」が高いなど、進捗に遅れが見られることから、がん治療に従事する全ての医師等が緩和ケア研修会を修了するよう、引き続き受講状況を把握し、がん診療連携拠点病院と連携して受講の促進に努めるとともに、北海道がん診療連携協議会と連携し、患者や家族に対する緩和ケアについての情報提供に努める。また、国の「がんの緩和ケアに係る部会」での議論を踏まえて、今後、必要な取組について検討する。</p>	項目	計画当初	現状値(R2)	備考	緩和ケア病棟を有する病院	20病院	22病院	参考指標	項目	道	全国	備考	身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	69.6%	56.1%	参考数値	心のつらさがあるときに、すぐに医療スタッフに相談できると感じている患者の割合	35.6%	31.9%	参考数値	亡くなる前1ヶ月間の療養生活の質について、からだの苦痛が少なく過ごせたと回答した患者の割合	32.5%	41.8%	参考数値
項目	計画当初	現状値(R2)	備考																						
緩和ケア病棟を有する病院	20病院	22病院	参考指標																						
項目	道	全国	備考																						
身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	69.6%	56.1%	参考数値																						
心のつらさがあるときに、すぐに医療スタッフに相談できると感じている患者の割合	35.6%	31.9%	参考数値																						
亡くなる前1ヶ月間の療養生活の質について、からだの苦痛が少なく過ごせたと回答した患者の割合	32.5%	41.8%	参考数値																						
<p>相談支援、情報提供</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>進捗に遅れが見られるため 取組を強化</p> </div>	<p>○治療上の疑問や精神的・心理社会的な悩みに対応できるよう、より効率的・効果的な相談支援体制を構築 ①相談支援 ②情報提供</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【参考指標、参考数値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">項目</th> <th style="width: 15%;">計画当初</th> <th style="width: 15%;">現状値(R2)</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん相談支援センター設置二次医療圏数</td> <td>14圏域</td> <td>14圏域</td> <td>参考指標</td> </tr> <tr> <td>患者サロン設置二次医療圏数</td> <td>14圏域</td> <td>14圏域</td> <td>参考指標</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">項目</th> <th style="width: 15%;">道</th> <th style="width: 15%;">全国</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合</td> <td>36.3%</td> <td>47.1%</td> <td>参考数値</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>【評価結果及び今後の対応】 「家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感しているがん患者・家族の割合」が低いなど、進捗に遅れが見られることから、相談支援体制の充実・強化について、北海道がん診療連携協議会と連携した研修会の開催など、がん相談員の質の向上及びピアサポーターの養成に努めるとともに、がん相談支援センターの利用促進に向け、企業等と連携した情報提供に努める。</p>	項目	計画当初	現状値(R2)	備考	がん相談支援センター設置二次医療圏数	14圏域	14圏域	参考指標	患者サロン設置二次医療圏数	14圏域	14圏域	参考指標	項目	道	全国	備考	家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	36.3%	47.1%	参考数値				
項目	計画当初	現状値(R2)	備考																						
がん相談支援センター設置二次医療圏数	14圏域	14圏域	参考指標																						
患者サロン設置二次医療圏数	14圏域	14圏域	参考指標																						
項目	道	全国	備考																						
家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	36.3%	47.1%	参考数値																						
<p>がん患者等の就労を含めた社会的な問題</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>更なる推進が必要であり 取組を強化</p> </div>	<p>○働く世代のがん患者が働き続けることができるよう、より効率的・効果的な就労支援体制を構築 ①就労支援 ②就労以外の社会的な問題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【参考指標、参考数値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">項目</th> <th style="width: 15%;">計画当初</th> <th style="width: 15%;">現状値(R2)</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北海道がん対策サポート企業等登録制度 登録数</td> <td>62社</td> <td>82社</td> <td>参考指標</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">項目</th> <th style="width: 15%;">道</th> <th style="width: 15%;">全国</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」を知っている企業の割合</td> <td>20.1%</td> <td>—</td> <td>参考数値</td> </tr> <tr> <td>外見の変化に関する相談ができたがん患者の割合</td> <td>27.2%</td> <td>28.5%</td> <td>参考数値</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>【評価結果及び今後の対応】 「北海道がん対策サポート企業の登録数」は増加しているものの、「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」を知っている企業の割合が低いことから、施策の更なる推進が必要であり、関係機関と連携したガイドラインの周知や、両立支援を行う北海道産業保健総合支援センターの活用促進について企業等に対する更なる情報提供に努める。また、就労支援として、がん拠点病院等における相談支援体制が重要であることや、外見の変化に関する相談ができたがん患者の割合が低調であることなどから、北海道がん診療連携協議会と連携した研修会の開催など、がん相談員の資質の向上に努める。</p>	項目	計画当初	現状値(R2)	備考	北海道がん対策サポート企業等登録制度 登録数	62社	82社	参考指標	項目	道	全国	備考	「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」を知っている企業の割合	20.1%	—	参考数値	外見の変化に関する相談ができたがん患者の割合	27.2%	28.5%	参考数値				
項目	計画当初	現状値(R2)	備考																						
北海道がん対策サポート企業等登録制度 登録数	62社	82社	参考指標																						
項目	道	全国	備考																						
「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」を知っている企業の割合	20.1%	—	参考数値																						
外見の変化に関する相談ができたがん患者の割合	27.2%	28.5%	参考数値																						

2 分野別施策	指標の進捗状況等・評価結果及び今後の対応																	
<p>がん教育、がんに関する知識の普及啓発</p> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 順調に進捗しており 引続き推進 </div>	<p>○がん患者への理解や健康と命の大切さに対する認識を深めるため、すべての学校で、がんに関する授業を充実 ①がん教育 ②がんに関する知識の普及啓発</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【指標の進捗状況】</p> <p>がん教育の実施</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 15%;">計画当初</th> <th style="width: 15%;">現状値(H30)</th> <th style="width: 50%;">目標値(R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>63.1%</td> <td>65.8%</td> <td rowspan="4">すべての学校</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>58.0%</td> <td>55.9%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>70.4%</td> <td>78.3%</td> </tr> <tr> <td>高等学校</td> <td>65.6%</td> <td>74.1%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>【評価結果及び今後の対応】</p> <p>全体のがん教育の実施率が増加傾向にあるなど、概ね順調に推移しており、引き続き、医療機関や教育関係者等と連携し、学校現場でのがんに関する授業に取り組むとともに、教育資材（DVD）を活用し、小学校におけるがん教育の促進に努める。</p> <p>また、がん予防道民大会を始めとした各種イベントにおいて、がんの正しい知識の普及啓発に努める。</p> </div>		計画当初	現状値(H30)	目標値(R5)	全体	63.1%	65.8%	すべての学校	小学校	58.0%	55.9%	中学校	70.4%	78.3%	高等学校	65.6%	74.1%
	計画当初	現状値(H30)	目標値(R5)															
全体	63.1%	65.8%	すべての学校															
小学校	58.0%	55.9%																
中学校	70.4%	78.3%																
高等学校	65.6%	74.1%																
<p>道民運動の推進</p> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 順調に取り組を進めており 引続き推進 </div>	<p>○条例の理念に基づき、道民の適切な役割分担の下に一体となって施策を推進</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>【評価結果及び今後の対応】</p> <p>道民運動の推進については、北海道がんサミットなどの開催により、道民ががんに関する知識と理解を深め、一丸となってがんの撲滅に取り組むよう道民運動の更なる促進に努める。</p> </div>																	